

科目名	ビューティービジネス（実装）		Subject	Beauty Business（Implementation）	
サブタイトル	経営戦略の視点とイノベーションを導出する思考法を用いて、新たなビューティービジネスのプランを設計できることを目指す				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術	社会実装	
1 年	後期	選択			
授業形態	単位	時間			
演習	2 単位	30 時間		◎	
ゲストスピーカー招聘回					
教員名	佐々木 浩也		メールアドレス	Hiroya.sasaki@・・・	
教員の略歴	ライフスタイルブランド広報、アウトドア、観光、地域活性など複数ジャンルの雑誌編集を経て、2013 年よりヘア＆ビューティ事業を担当。理美容専門誌の編集、関連するデジタルコンテンツ、イベントなどを企画制作。				
実践的教育	〇メディア実践者：美容系メディアの制作を通じた企業との協業、新規事業開発の経験をもとに、実践に即した内容としている。				
オフィスアワー	こちらに入力せず、forms の回答をお願いいたします。				

科目の概要								
デジタル化に伴う急速な社会変容はビューティービジネスを取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしている。ますます不確実性が高まるビジネス社会で求められるのは、論理的思考法と感性に基づいた思考法、双方によるアプローチである。そこで本実装講座では、「ビューティービジネス（基礎）」で学習した内容をベースに、経営戦略とサービスデザインの基礎理論を学び、ビジネスアイデアを導出するためのさまざまな思考法を習得する（ディプロマポリシー②に該当）。また講義は学生の発表とディスカッションを主体としたアクティブラーニングの形態をとり、フィールド調査を基に策定したビジネスプランの発表を行う（ディプロマポリシー①に該当）。なお、本実装講座では雑誌編集のメソッドに基づいたワークショップを取り入れ、ビューティービジネスの現場取材や実務家へのインタビューを通した実践的な学びの場を提供する。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	あり	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
社会実装	環境分析とフィールド調査をもとにビジネスプランを策定しプレゼンテーションすることができる。							
社会実装	ビジネスアイデア導出のための思考技術を習得し、課題解決に取り組み、社会実装に応用することができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	『新版・経営戦略の基本』（手塚貞治・株式会社日本総合研究所経営戦略研究会、日本実業出版社、2024） 『HELLO, DESIGN 日本人とデザイン』（石川俊祐、幻冬舎、2019） 『チーズはどこへ消えた？』（スペンサー・ジョンソン、扶桑社、2000）							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
%	%	40%	10%	%	30%	%	20%	() %
出席、受講態度、課題への取り組み、発表などを総合的に評価。ディスカッションへの積極的な参加や傾聴など、授業への貢献度を特に重視します。								
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。また、レポート（Word形式）に対してコメントを返します。								
履修上の条件・注意								
私語、居眠り、携帯電話の使用、授業及び他者の学習の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。授業に関わる内容の質問や意見など積極的な発言は歓迎します。課外授業は1回の参加で2コマ分の出席とします。提出レポートはWord形式、発表資料はppt形式で作成してください。								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 「美容×○○」の可能性を考えよう	美容に関連するビジネスを体系的にとらえ、関心のあるビューティービジネスについて自身の考えを述べることができる。	予習：これまでの人生でとった「戦略的行動」について自身の経験を振り返り、まとめてくる。	240 分
第 2 回	経営戦略演習① ロジカルシンキングで美容業界を見る	論理的思考法を用いてビューティービジネスの外部環境を分析することができる。	復習：美容に隣接する業界の外部環境を分析する。	240 分
第 3 回	経営戦略演習② 自分の「強み」から戦略を考える	経営戦略の基礎的なフレームワークを用いて、ビジネス主体の内部環境を分析することができる。	復習：関心のある美容企業の内部環境を分析する。	240 分
第 4 回	経営戦略演習③ アイディアは掛け算から見つかる ゲストスピーカー：牧野容子氏（ビューティ ー・クリエイティブ・ディレクター）	外部環境/内部環境の分析をもとに、ビジネス課題に対する戦略を立案することができる。	予習：デザインを効果的に活用している美容企業やブランドの事例について調べてくる。	240 分
第 5 回	サービスデザイン演習① すべての商品はサービスである	広義のデザイン概念とサービスデザインの要諦を学び、説明することができる。	予習：身近にあるものをよく観察してスケッチし（制限時間 20 分間）、洞察したことをまとめる。	240 分
第 6 回	サービスデザイン演習② 「よく見る」ことと「よく聞く」こと	デザイン思考による観察法、インタビュー法を応用することができる。	予習：買い物やサービスなどを通して、顧客として最高の気分だった体験、最低だった体験のエピソードを、それぞれまとめておく。	240 分
第 7 回	サービスデザイン演習③ 「顧客」としての体験を振り返ろう	サービスデザインの思考に基づいた「主観」と「経験」を軸とした洞察、リサーチ法を応用することができる。	復習：講義を振り返り、気づきと学びをまとめる。	240 分
第 8 回	サービスデザイン演習④ 顧客体験を「見える化」する技術	自身の顧客体験をもとにカスタマージャーニーマップを作成し、サービスやビジネスのアイディアを導出することができる。	予習：美容専門メディアの業界における役割について、考えをまとめてくる。	240 分
第 9 回	美容ジャーナル演習① 良い企画は会議の質で決まる	企画アイディアをチームで検討するためのミーティング、ブレスト会議を運営することができる。	復習：講義を振り返り、気づきと学びをまとめる。	240 分
第 10 回	美容ジャーナル演習② 取材は段取りが 8 割	取材協力先に依頼の趣旨を説明するための企画書を作成し、準備することができる。	予習：取材対象について事前調査し、インタビュー項目をまとめておく。	240 分
第 11 回	美容ジャーナル演習③ 実地取材 （都内の美容関連企業を予定）	準備した内容に即して取材対象者にインタビューを行うことができる。	復習：取材を振り返り、気づきと学びをまとめる。	240 分
第 12 回	美容ジャーナル演習④ 実地取材 （都内の美容関連企業を予定）	取材メモ、記録した写真をもとに誌面を作成することができる。	予習：撮影した写真をセレクトしておく。	240 分
第 13 回	美容ジャーナル演習⑤ デザインも原稿も全ては読者のために	意図に沿ったレイアウトを考え、読み手を意識した原稿を作成することができる。	復習：講義を振り返り、気づきと学びをまとめる。	240 分
第 14 回	総合演習① ビジネスプランを立てる	講義内で行った分析法、取材した内容をもとにビジネスプランを作成することができる。	予習：個人のビジネスプランを 10 分間の制限時間内でプレゼンテーションできるよう準備する。	300 分
第 15 回	総合演習② 全講義の振り返りとまとめ 個人プレゼンと合評	資料をもとに、ビジネスアイディアをプレゼンテーションすることができる。	復習：全 15 回を振り返り、気づきと学びをまとめる。	240 分